

ノタヌキモ

Utricularia aurea Lour.タヌキモ科
Lentibulariaceae

カテゴリー

大分県 IB
環境庁 掲載なし

選定理由 県内で確認された生育地はごく希。水質汚濁や水生植物との競合もあって、生育する池沼や個体数が減少し、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布 中津・宇佐低地

分布域 本州 四国 九州(福岡・佐賀・大分・宮崎・鹿児島) 朝鮮半島(南部) 台湾～南アジア オーストラリア

生育環境 低地の池沼。

現 状 古いため池に希に生えるが、水環境の悪化で、生育地、個体数とも減少している。

備 考 国立公園指定植物 [阿蘇くじゅう, 瀬戸内海]

ホザキノミミカキグサ

Utricularia caerulea L.タヌキモ科
Lentibulariaceae

カテゴリー

大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 県内では西部・中部地域の湿地に偏在する。生育地は狭い。湿地環境の改変や野焼きの停止による乾燥化で、生育地の消滅が懸念される。

県内分布 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群

分布域 北海道 本州 四国 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島) 沖縄 朝鮮半島 中国 台湾 インド インドシナ マレーシア オーストラリア

生育環境 丘陵地の水湿地。

現 状 湿地の周辺地が改変され、生育環境が悪化した生育地がみられる。

備 考 国立公園指定植物 [阿蘇くじゅう, 瀬戸内海]

ミカワタヌキモ(イトタヌキモ)

Utricularia exoleta R. Br.タヌキモ科
Lentibulariaceae

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁 IB

選定理由

県内分布 (中津・宇佐低地)

分布域 本州(東海・近畿地方) 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島) 沖縄 台湾 インド オーストラリア アフリカ ポルトガル

生育環境 低地の池沼。

現 状 「中津・宇佐低地」で採集されているが、その後、生育地の状況が変わり、生育状態は把握されていない。